自分の居場所と感じられる都市をつくる

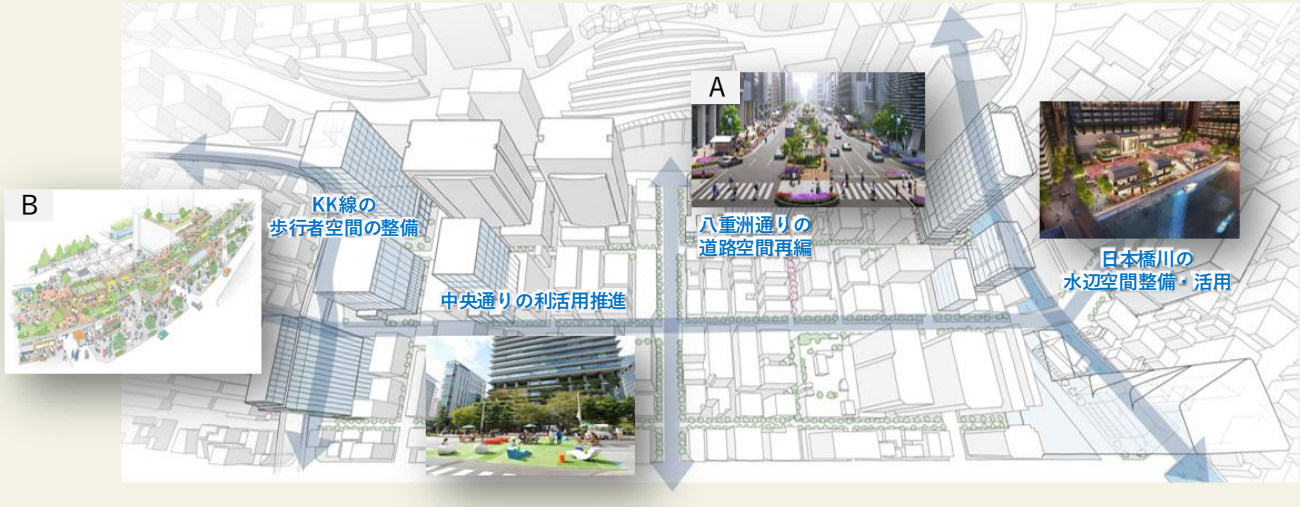


YNKエリアは、江戸以来の細かな町割りや路地、老舗店舗の店先や赤提灯等が醸し出すこのまち独自の風景が、居心地の良い空間を形成しています。一方で、高速道路や幹線道路等がそれらの空間やエリア内外の人流を分断してきました。

今後行われる高速道路の撤去や遊歩道化、八重洲通りの再編等のダイナミックな都市構造の変化の機会をとらえ、連続性ある居心地の良い空間を創出しつつ、既存の街並みや風景を維持・活用し、「余白」を維持・創出することで、皆が「わが街」「自分の居場所」と感じられる都市を目指します。

1 車中心から、人中心の都市構造へ転換する

首都東京の東京駅前で計画が進む複数の道路再編という都市構造の変革を生かし、人中心の空間整備を推進する。



A：出典_東京駅前地区駐車対策協議会、一社）東京駅前地区まちづくり推進協議会
B：©イラスト_イスナデザイン ※この図はKK線再生に向けた検討内容をイメージ化したものです。

2 道路を更に魅力的な空間にする

道路率が高いという特徴を活かし、各通りの特性に応じて、道路再編、美装化、シェアードスペース、ホコ天化や地域イベントとの連携等ウォーカブルで面的な歩行者ネットワークを整備して回遊性向上を図る。

3 このまちがもつ歴史や古き良き風景を残し、活かす

個性ある既存の街並みや風景などを活用し、居心地の良い空間形成を推進する。

- 路地の特長を活かした空間づくり



路地を活用した賑わい
「TOKYO BLOCKS PARK!」

その他取り組み

- 都市の更新と既存市街地が混在した特徴ある都市活動拠点の形成
- ファサードに変化のある街並みの形成
- 余白を活用した居場所づくりやシンボルの形成